

ふる〜ぶ〜 Fleuve

「ふる〜ぶ」はフランス語で海にそそぐ大河のことです
ひと、まち、自然、歴史、風景、吉野川をとりまく様々な表情をみなさんにお伝えします

VOL.78
2006/8



1 page **【特集】
吉野川アラカルト**

レッツゴー♪マーケット。 産直市へいこう。

みずみずしい採れたての野菜や果物。
流域を代表する逸品や手づくりのお菓子……。
個性豊かな産直市へ出かけてみませんか。

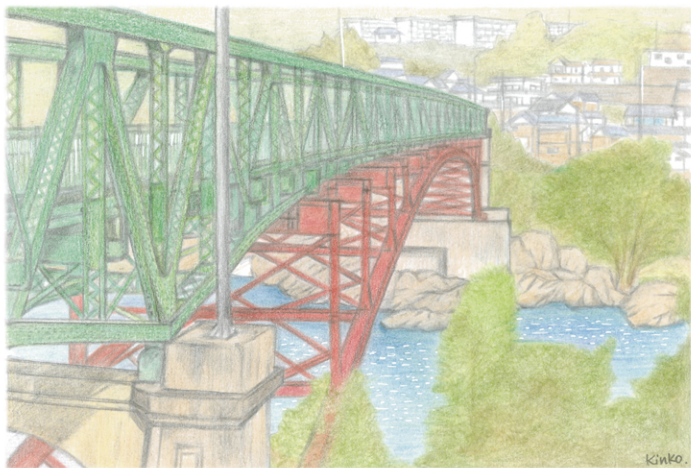
3 page **吉野川いまむかし
渡し場・旧三好橋など**

4 page **ふる〜ぶ編集部がおじゃまします**
夏休み特別編「ぼくらの水辺再発見マップ」

5 page **ふる〜ぶめいと通信**
徳島県の地券

6 page **Re♪Re♪Re♪エッセイ**
夏対策(その二)
ミックススパイスを作ってみませんか。
ふる〜ぶインフォメーション
ふる〜ぶ展開催

7 page **よりよい吉野川づくり(第15回)**
第1回 吉野川学識者会議が開催されました。
ふる〜ぶひ・ろ・ぼ…編集後記・プレゼント



レッツゴー♪マーケット。 産直市へいこう。

これからの暑い季節。吉野川の流れとともに、産直市へ出かけてみませんか？

みずみずしい野菜や手作り食品。流域を代表する逸品。そしてなにより、

流域の皆さんの元気な笑顔に出会えます。でも、たくさんある産直市。

いったいどこへいこう。ふる～ぶめいとの情報をもとにレッツゴー。

皆さんも、さまざまな情報をもとに、お近くの産直市に出かけてみて下さいね。



産直「みかもん」は平成16年10月に、組合員をつのり、始まった。手作り菓子工房のみなさん、1組合員として、お菓子を販売している。

産直『みかもん』 手づくり菓子工房

みかもんの皆さんに出会いました。

「三加茂は、夏から秋にかけてが旬の夏秋イチゴの名産地なんですよ」ふる～ぶめいとのお話を聞き、おいしいイチゴを求めて、今は合併して東みよし町にある「みかもん」へやってきました。

訪れた時は、ちょうどロールケーキが完成したところ。「生地、生クリーム、イチゴのハーモニーが抜群なんです」と、スタッフの方も語る自信作。たくさんあるお菓子のなかでも、お勧めの逸品です。



ロールケーキが完成。さっぱりとした甘さだ。

まさにそのロールケーキの生地のように、ふわふわとした優しい笑顔で迎えてくださった武岡洋子さん。一緒に工房で働いている藤本千代子さん、高橋照代さん、宗廣茂さんとともに、徳島県内初の合同会社を設立し、話題となりました。これは、今年5月から施行された新会社法による

新組織形態。以前から、みかもんをより多くの方に知ってもらいたい。そんな思いもあり、法人化について地元商工会と相談をかねて、合同会社を設立したそうです。出資の最低資金は、問われず、全員が同額を出資。出資者全員が、経営に参加するこの形態。

「誰かひとりが、代表となって責任を負うのではなく、4人全員が対等の立場で仕事ができるのがいいですね。グループで仕事をしていくのには、いいと思います」と武岡さんはいいます。現在は、アルバイトの方2名を含めて、全員6名で仕事をしているそうです。

この手作り菓子工房「みかもん」が始まったのは、旧三加茂町の特産品である夏秋イチゴの市場に出回らない規格外のイチゴを使って、付加価値のついた商品ができないうと、役場のよびかけがあったからです。特産品開発準備会を経て、平成15年7月製造業の認可を受け、スタート。ロールケーキ、シフォンケーキ、パウンドケーキ、クッキーなど、さまざま

な商品を作っています。カボチャやホウレンソウは、もちろんのこと、一見「えっこんな野菜がケーキになるの？」



手作り菓子工房「みかもん」の皆さん。おそろいのエプロンがお似合いです。

と思ってしまうチンゲンサイやコマツナなども、シフォンケーキの食材になるそうです。これには、野菜嫌いの子どもたちにも、やさしく楽しく、野菜を食べてもらいたいという思いが、込められています。

いつも、心がけているのは、生産者の顔が見える地元の食材を使うこと。「こんな使ってみて」と、地元の方々がコンテナいっぱい野菜を持ってきてくれることもあるそうで、こんな生産者の方々と連携も、よい商品を生み出す秘訣かもしれません。

ふるさとで生まれた新鮮野菜や果物。そして、その野菜や果物から、ふるさとを愛する女性たちが作るお菓子。やわらかい雰囲気包まれた、心がほっとなる市場でした。



産直「みかもん」 手づくり菓子工房

- ◆ 所在地 徳島県三好郡東みよし町 中庄1447
- ◆ 電話 0883-82-3580
- ◆ 営業時間 午前9時～午後5時
- ◆ 定休日 日・火曜日



JA麻植郡 「ひまわり農産市」

公募で「ひまわりのように太陽にまっすぐに向かって成長していくように、農産市も発展してほしい」そんな思いから名づけられた「ひまわり農産市」。鴨島町内で初の常設された農産市として、平成11年12月にオープンしました。JA麻植郡の組合員であれば、出荷することが可能で、地元の約170人の生産者が自分達で値段を決めて出荷しています。「新しいものしか販売しない」がモットー。

毎朝8時すぎに生産者が出荷をし、閉店後、残った商品があれば毎日引き上げています。



みなさん、ひまわりのような笑顔。

商品はいつも200種類前後あり、8月は「なし、ぶどう、いちじく」などがおすすめです。

「はじめの頃は生産者でくじ引きをして、毎朝置く場所を決めていたのですが、お客様の立場になって考えると、根菜類は根菜類、果物は果物類で置く場所を決めたほうが選びやすいですね。お客様の気持ちになって考えるようになりました工夫をしています。吉野川市は野菜団地とも言われていて、数多くの野菜が生産されています。みなさん、是非、地

元の新鮮なものをたくさん用意していますので、お越しください。」と笑顔で話してくださった店長の竹内穂さん。年間を通じて「スイートコーンまつり」や「お盆



分かります配置されています。

涼しそう、メダカも販売されていました。



の特売」など季節にあわせたイベントも開催されています。



JA麻植郡「ひまわり農産市」

- ◆所在地 徳島県吉野川市鴨島町上下島283-2
- ◆電話 - (0883) 22-0006
- ◆営業時間 午前8時30分～午後4時
- ◆定休日 日・毎月第3分曜日・盆・正月



農産物直売所 「百姓一」

「農家の力で石井町を全国に売り出したい」との思いから平成7年からはじまった「百姓一」。「野菜を売ってオーストラリアに行くぞ、めざせ年商2億円!日本一の直産市」を目標に活動し、オーストラリア旅行は2年半後に、年商2億円は約6年後に達成しました。全国各地から視察が訪れています。

百姓一の特徴は、経営者と出荷者が同じだということ。74の農家が百姓一に商品を出荷し、 $\frac{1}{2}$ の権限と義務をもち、利益も、負債についても、すべて全員の責任で持っています。新鮮で安全な農産物を消費者のみな



さんに届けば、おいしい食材をたべる消費者のみなさんが元気になれる。農業者自身が意識改革や、研鑽をすることにより、自分たちの発展にもつながると、みなさんで考えたそうです。

以前から「農業を認めてもらいたい! 農業と自分たちが住んでいる石井町全体も活性化させたい」と思っていた会長の中野統夫さん。

最近では、直産市だけでなく、近くの畑を、貸し菜園としても開放し、収穫体験も行っています。6月には馬鈴薯の掘りとり大会を開催しました。この

百姓一のみならず、レゾを担当しているときもお客様に商品の声を聞か。

地元の子もたちが書いた特産品の説明。



畑でその後、田植え

をし、秋には稲の収穫をし、もみすりも参加した46家庭と一緒にする予定です。また、隣の畑での田園アート展や、海外旅行がある抽選会、もちつき大会も開催しました。会員も楽しめることを開催しているそうです。「これからも地域の活性化の核としてあり続けていけるよう、消費者のみなさんの事を第一に、日本全国に「百姓一」を発信しつづけていきたい。」と話してくださいました。



農産物直売所「百姓一」

- ◆所在地 徳島県名西郡石井町石井字重松639-5
- ◆電話 - 088-674-7377
- ◆営業時間 午前8時30分～午後6時
- ◆定休日 日・水曜日

商品にもいろいろな説明がされています。

吉野川 いま むかし

このコーナーでは、吉野川の
今と昔の写真を見ることによって、
ふるき時代をみつめ、
未来の吉野川を創造します。

第3回

橋や、鉄道もない時代。吉野川は、交通の大動脈でした。
吉野川の兩岸を、結ぶ渡しは人々や物資を運び、
文化や風習を運ぶ役目もはたしていました。
今回は、渡し場や、旧三好橋の開通式の時の
にぎわった写真を紹介します。
（今回のむかしの写真はすべて三好市生涯学習課所有・転載厳禁）



大具渡し

現在の三好市池田町州津と三好市井川町西井川を結んでいました。大正3年4月に吉野川ではじめて岡田式渡船を導入し、讃岐と土佐を結ぶ重要な渡し場でした。写真の撮影された年代は不明。



昔



今

大具渡しあとに建てられた三好大橋

昭和33年に架けられた三好大橋。三好大橋の完成により大具渡しは歴史の幕をとじました。



三好橋開通式

昭和2年6月12日行われた三好市池田町白地と三好市池田町三橋を結ぶ旧三好橋の開通式の様子。四国の中心地となる三好。三好橋ができることにより、他県との行き来もしやすくなりました。橋の名前の由来は地名と、他県の3県との友好も願って名づけられました。多くの人が訪れ、当時は他に例をみない東洋一の吊り橋といわれました。



昔



岩津渡し

阿波市岩津（旧阿波町）と吉野川市山川町を結んでいました。吉野川河口から、最上流の川湊がある川口の浜のほぼ中間地点であり、川湊としてもにぎわいがあり、交通の要衝でした。昭和30年代の写真と推測。



昔



今

三好橋

吊り橋から大改造されて平成元年に完成した現在の三好橋。補剛トラスはそのままにし下側にアーチを造り、上落式ローゼトラス橋となりました。

今

岩津橋

川幅が約150mと池田よりも下流ではもっとも狭くなっている岩津。戦後、2橋の吊り橋が架けられ、現在の斜張橋が、三代目となる岩津橋。平成5年の完成にともない、2橋は撤去されました。現在も常夜灯が残っています。





ふる~ぶ 編集部が おじゃまします!

夏休み 特別編

「川の日」制定10周年記念として身近な川や水辺の様々な魅力を再発見し、「あなたのまちの素敵な水辺を自慢しよう!」をテーマに全国で募集されていた「ぼくらの水辺再発見マップ」(川の日実行委員会、徳島新聞社、全国地方新聞社連合会主催、国土交通省などが後援)

徳島県内の小中学生からは51点の応募があり、最優秀賞を受賞した林美慧さんと宏樹君の作品「ひろきとみさとのおさんぼミステリー川バリエーションマップ」が、全国の中から一番優れた作品におくられる「国土交通大臣賞」に選ばれ、東京で開催された「川の日」フォーラムで授賞式が行われました。

今回のこのコーナーでは夏休み特別編として林美慧さんと宏樹君にお話を聞き、入賞者の作品を紹介します。

～気持ちのいい風～

「一緒に歩いてみよう!」待ち合わせをした北島町の三ツ合公園で林美慧さんと宏樹君が言ってくれました。一緒に取材に同行してくださったお父さんの浩二さん、お母さんの佳代さんも一緒に「おさんぼミステリーマップ」を手に出発しました。

二人が作ったのは、鳴門市大麻町から板野郡北島町にかけての旧吉野川周辺をマップにしたもの。「この円盤のようなものーんだ?」「途中でなくなっている赤い橋の正体なーに?」などと書かれたミステリーポイントをめくると答えがでできます。おすすめポイントも書かれてい

ぼくらの水辺再発見マップ



(左) 散歩をはじめた朝の散歩時間、ずっと枯れずにいる「樹根植物」
(右) あるときは円盤に、あるときはエリンギに見える

て「きれいな葉の花と大麻山」「お父さんがよく遊んだ思い出の通り」「あまいにおいのする野ばら」など、それぞれ読むと「行きたい!」と思うようなところばかり。散歩と一緒にしてから2時間くらい時間がたっていました。気が持ちのいい風が吹いてきた。「あれがど根性植物だよ」とわくわくするような説明をしてくれたので、あっという間に時間が過ぎていきました。「大きなエリンギがあるよ」。何かと思うと貯水塔でした。なるほど。確かに大きなエリンギに見えてきました。マップを手に散歩をしたので「これはこういことだったのか!」と次々と新しい発見がありました。創造力を働かせる何気ない風景が全く違ったものに見え、すべてが新鮮に思えてきました。編集部とお散歩をしたこの日にも、二人にとっては新しい発見があったようで、宏樹君はこの日「歩き」というタイトルでさっそく日記を書いたそうです。

もともとはお父さんの浩二さんと一緒に美慧さんと宏樹君が散歩をしていたコース。マップには、おじいちゃんやおばあちゃんから聞いた話や伝説なども紹介されています。美慧さんは昨年度、学校で環境学習に取り組んでいたことから、水辺には興味をもっていました。みなさんも身近な水辺をゆっくり歩いてみませんか? きっといろいろな発見がありますよ。



林美慧さんと宏樹君
たくさん説明してくれました

他の受賞作品

「ホテルとめがけいっぴいのみさとマップ」
(種野小学校3年生6人) **優秀賞**



「ぼくらのわたしの水きわマップ」
川原沢太君(鳴門大附属小学校2年生)
川原さくらさん(助任村児童)



「バババのワンダーフォーキングマップ」
村井颯希さん
(八万南小学校4年生)



「ふる～ぶめいと」は、
吉野川が大好きな
人たちの集まりです。

「ふる～ぶめいと」の活動は、吉野川や吉野川流域に関する身近な情報を「ふる～ぶ」に提供することにより、吉野川に親しみや、関心を持っていただいて、吉野川ファンの輪を広げていただくことを目的にしています。

めいと レポート

「徳島県の地券」 阿波市 森澄子さん

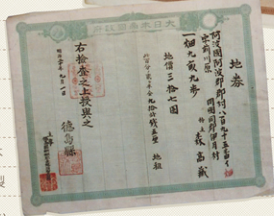
阿波国阿波郡伊月村200番字前須賀は、吉野川の中洲にある一番大きな島、善人寺島の東部にあたる土地です。明治6年、政府は、安定した税収を確保する為、地租改正を行い地券を発行しました。土地の測量、地価の決定、一筆ごとに、土地の所有者を決め、地租(税)は、土地の値段の3パーセントとする。今までは、収穫物を納めていたが、お金で納めることや、とれ高などから、等級を決め、田で12等級、等外1等と13段階に、畑では、20等級、等外6等で、26段階に(伊月村地処明細等級控帳)細かく決めました。

「地券」の大きさは、半紙ぐらいで上段に大日本帝国政府と菊の紋章と桐の紋の図柄が大きく入り、一番下には、気がつかないくらい小さな文字で大日本帝国政府 大蔵省印刷局製の文字が横書きで書かれ、それに対して地券の文字は縦書きで、一行目に番地入の所有地、二行目に、田、畑、山林、堤敷、原野、宅地などの地目と面積、三行目には地価、四行目に地租、地租は、最初は地価の3パーセントと決められていたが、明治9年に地租

改正反対一揆が三重、茨城、愛知、岐阜の各県で激しく起こり、「明治9年改正」のたて判が地券の上に押され、「明治10年ヨリ」の文字が記入され、2.5パーセントの記入が3パーセントと並んで、明治13年発行の地券に書かれています。



他県の例を見てみると、明治7年10月交付の小倉県(福岡県と大分県の一部)の地券には、菊や桐の紋の図柄が入っておらず、明治10年5月に交付された石川県の地券には、明治9年改正の判が押されています。



徳島は、徳島県から名東県、名東県から高知県へと県名が変わりましたが、明治13年3月高知県から独立し、その年の6月1日に交付された地券は、茶色で、徳島県発行の地券です。明治21年9月1

日には、水色の地券に変わり、明治22年地券は、すべて廃止され土地台帳法ができ、現在の土地権利書に変わりました。



ハーブ農園 からの風

このコーナーでは、「ふる～ぶめいと」の黒川慶子さんにハーブの楽しみ方を中心に、食と健康、水の大切さなどについて語っていただきます。楽しいレシピなども登場しますよ。

「南仏プロヴァンス地方のハーブ」という名の、乾燥薬草を利用したミックススパイス、野生のあるいは各家庭の庭先で栽培された身近なハーブをふんだんに使い素材の持ち味を生かすのが、プロヴァンス流の家庭料理です。そのナチュラルな風味を手軽に再現するためにびっぴりミックススパイスとして生まれ、この名があります。

「エルブ・ド・プロヴァンス」タイム、セージ、サボリー、ローズマリー、オレガノ、ローレル、フェンネルなどから組み合わせる。



スパイスは、それぞれの香りや味に特徴を備えており、相性のよい食材と組み合わせることで、また、複数のスパイスをブレンドしても、お互いの持ち味をまろやかに調味させ、微妙な風味をかもし出します。手軽な市販品を利用しても、また、

次回は、九月のオーストラリアハーブ事情について、書いてみたいと思います。

【黒川慶子さん経歴】
ハーブコーディネーター
板野町でハーブ農園を営む。
食と健康について、講演も務める。
徳島県薬草協会会員
上板町薬草協会会員

作り方は、それぞれのハーブの乾燥量をほぼ同量ずつ碎いて混ぜ合わせます。魚介類のスープや煮込みなど長時間加熱する料理に向きます。また、肉などにまぶし下味をつけてローストやソテーなど幅広く使えるスパイスです。

◆ハーブソルト◆
先程のエルブ・ド・プロヴァンスや、乾燥後粉末にしたレモングラス、バジル、オレガノ、タイム、ローズマリーなど、塩こしょうをブレンドして、自家製ハーブソルトの出来上がりです。材料の下味付けにも、テーブル用にもとても便利です。

◆ハーブドレッシング◆
ワインビネガーに対し、オリーブオイル三割合に、細かく刻んだフレッシュユッケンハーブと塩、こしょうを加えればハーブドレッシングの出来上がりです。冷たくしたトマトやレタス、キュウリなど夏野菜にたっぷりかけて、暑い夏を乗り切りましょう。また、洋風ハーブが苦手な方は、青じそなどで試してみてください。

ふる～ぶ INFORMATION

ふる～ぶ展開催 皆さんのお来場をお待ちしています。

平成18年8月18日(金)～20日(日)
10時～18時(ただし、最終日は、16時まで)

場所…徳島市ビックセンター5階ギャラリー
徳島市元町1丁目(徳島駅前)



西山欣子さんの表紙イラスト原画を中心に、ふる～ぶめいととの活動などを写真や、パネルで紹介するふる～ぶ展を今年も、開催いたします。今年は、ふる～ぶめいとの長江さんの指導のもと、一緒にやさしい竹細工を体験できるコーナーを設けました。みなさんのお来場をお待ちしています。

展示内容

- ◆西山欣子さんによる吉野川ファン通信ふる～ぶの表紙イラスト原画
- ◆ふる～ぶめいとの活動について、パネル紹介
- ◆吉野川の石を使って、描いたストーンアート展示
- ◆おじゃましま～す。ふる～ぶ編集部です。
総合学習コーナーなど。

こんな作品を作ってみませんか!!



なお、長江さんは、
8月20日(日)13時～16時
まで입니다。



